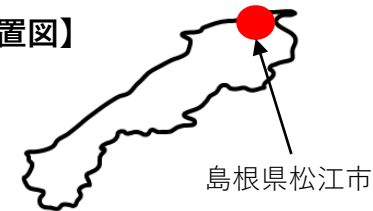


## 移住から就農までのトータルコーディネート

- 農政コーディネーターを配置し空き家情報や空き農地の情報収集をおこない、IUターンの就農希望者へ研修から就農までのトータルコーディネートを実施
- 就農動画の作成(R7年度活用：キャベツ、西条柿、R7年度作成：ぼたん、水稻の雇用就農)

### 【位置図】



島根県松江市

### 取組前

- 松江市では松江市農山漁村地域活性化基本計画で新規就農者年間14名(自営就農者4名、雇用就農者10名)を目標に掲げている。
- 松江市では農業従事者数が年々減少し、担い手不足によって地域農業の維持や発展が難しくなっていた。このため、市内外から就農希望者を確保し、円滑に就農へつなげるためのコーディネート体制の整備が課題とされていた。
- 松江の農業の魅力をより発信したい。

### 取組内容

- 農政コーディネーターによる情報提供、就農相談体制の継続。
- 新たに、松江でのリアルな就農を見える化した動画を作成、県内外の就農フェアで活用。  
参加フェア：7月15日の農林大学校向けの就農ガイダンス、11月9日の新・就農人フェア、11月30日のしまね就農相談会



### 取組後(成果)

- 新規就農者数  
過去3年平均(R3～R5) 3人  
→R6:10人(自営就農者6名、雇用就農者4名)  
R7:8名(自営就農者1名、雇用就農者7名)
- 就農フェアでの相談人数  
17名(内県外フェア10名)
- 移住希望者へ空きハウスのマッチング1件

### 【誘致体制】

県、J A、市、農業者（農業委員、指導農業士等）の各担当でサポートチームを編成し、就農準備から就農後の定着までサポートを継続的に行う。

各機関の役割は以下の通り。

- 県：栽培技術指導、就農計画策定支援
- J A：資金調達、農業機械等のあっせん
- 農政コーディネーター（市）：相談窓口、農地のあっせん、地域との調整、補助事業申請の助言
- 農業者（農業委員、指導農業士等）：研修受入、農地情報の提供

### 新規就農者や研修生の声

- Uターンして就農を決めた時に、農政コーディネーターに相談を重ねる中で、空きハウスの情報を教えていただき、実際に見学することもできました。ハウスが高騰していると聞く中で、こうした情報をタイムリーに提供してもらえたことがありがたかったです。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】松江地域農業再生協議会（松江市産業経済部農政課）  
TEL：0852-55-5224 E-mail：[n-shinkou@city.matsue.lg.jp](mailto:n-shinkou@city.matsue.lg.jp)  
[https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/sangyokeizaibu\\_noseika/sangyoshinko/1/1/1/3235.html](https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/sangyokeizaibu_noseika/sangyoshinko/1/1/1/3235.html)